



上海情報 2009年10月号

【情報提供】 【編集 / 提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務内

: 021-6219-8120 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【中国新幹線 ; CRH】 & 公共の交通機関

上海から、鎮江「約1時間半」まで新幹線タイプの鉄道で旅行しました。片道が1級席で「88RMB≒1,300JP¥」でした。

到着を待つ間、鎮江駅で見ていると高速の新幹線タイプと長距離寝台列車・近距離列車、更に、貨物列車までも同時に運転されていました。

本家 ; 日本や台湾新幹線のように新幹線専用レールで運行するのではなく、多数の列車タイプを5分~10分間隔で混在させていました。それを見ていると中国国有鉄道の運行スタイルは、「凄い」の一言でした。それも、現在まで新幹線タイプによる大事故の情報や噂もありません。

かつて、そして今でも中国は「ハードは1流でも、ソフトは3流」と評価されていますが、そんな評価もそろそろ変わり、終る時期に来たのかもしれませんが、新幹線型 ; 列車の遅延も5分~10分程度と我慢できました。但し、列車に乗る前に待たされる「待合室の混雑」具合や「乗せてやる」との乗務員の体質は、以前と同じ中国「鉄飯碗 ; お役所体質」でした。

現在、上海からは、蘇州「約40分」・無錫「約50分」・南京「約2時間」には多数の列車が出ていますし、その先の安徽省 ; 合肥「約3時間」や武漢「約5時間半」方面も運転されています。飛行機で行くよりも便利になっていて、今後は、「北京⇄上海」と「南京⇄上海」の間には、新幹線タイプの専用レールを新設して、もっと、もっと使いやすく、便利にする計画です。

列車の座席は、硬座「経済」エコノミー席と軟座「一級」ビジネス席の2種類となった日本と同じタイプです。その価格は、日本と比較すると断然、中国の方が安くなっています。

運行システムですが、混雑している主要幹線「上海~南京」間では最高時速を200kmに抑えて、「南京~合肥」間では、時速を250kmに上げて更なる高速で運転していました。

長江沿岸の都市での交通は、上海・南京・武漢に地下鉄・都市鉄道が開通して、都市内の移動も便利に、快適になっています。今、蘇州・杭州でも地下鉄を建設してい

ます。大都市だとバスやタクシー、自動車の公共機関だけに頼ると、道路が渋滞してスムーズに行かなくなっています。鉄道の利点「大量輸送・省資源」や公害防止のため、多数の大都市で採用される傾向になっています。現在のところ、中国国有鉄道は長距離輸送を専門として、近距離・郊外通勤のためには、使いやすくなっていません。そのため、地下鉄や都市鉄道の開通が、大変に待たれています。

上海地下鉄の利用者としては、時間もホボ正確に運行されていますし、約4年以上も住んでいて、経験した「地下鉄トラブル」による運行停止の回数は、たった『2回』です。日本以上に運行トラブルは、少ないのかも知れません。

(上海地下鉄8号線では、フランス系の信号技術によるトラブルが目立っています)

2010年には上海で万博が開催されますので、その時にでも、ご利用になって欲しいのが「Maglev：リニアモーター」鉄道です。浦東空港と市外の東；龍陽路駅の間を約8分間で運行しています。価格も開通初期に比較したら大幅に低下して、航空券を持っていると片道「40RMB」になります。「Maglev」が営業運転しているのは、世界中でも上海だけです。

そして、中国は世界最大の外貨所有国でもあります。リニアの隣では「馬車・牛車で荷物を運んでいる」や「人力でリヤカーや自転車で運んでいる」のも中国です。上海万博の時に多数の日本人も中国旅行を楽しまれると思います。ぜひ、中国の旅行にもトライしてください。

ただし、バスを利用すると市内バスでも、長距離バスでも神風運転が多くて「スリル満点」と心臓に負担が掛かりますので、ご注意ください。

(F:記)
OVTA アドバイザー

中国;上海で『国際会計』に携わっている会計人専門家で、09年秋から勉強会・情報交換のグループを結成します。 ;参加希望の方はご連絡ください

OVTA『東京』セミナー:09年度

中国会計 ……14:00～17:00 専門家でもハードです * 09/10/23、10/1/22(金) OVTA 東京事務所;会議室 ;各回、同じ内容になります
--

;詳細は「http://www.aoibc.com/aoi_seminar.html」で、案内書をご参照ください

OVTA『上海』セミナー:09年10月の予定

会計;上級編 ……14:00~17:00 **ハード**です

* **10/30(金)** 上海スタート(有);会議室

- ・ 中国法人の問題点と分析 ;日中会計の相違
- ・ その解決方法&注意点
- ・ 現状レポート ;中国法人の会計実態
- ・ 結論 ;「餅は餅屋」

申込先は「OVTA 北京事務所」になります

;010-8532-2291/2292、E-メール;ovta-bj@ovtabj.com.cn

中国語や中国会計を知らなくても、理解できる【日**中**簡単会計】ソフトのデモ版を用意しました。希望の方は、日本本社へ郵送いたしますので下記項目をご記入して「aoi@aoibc.com」の『**SJ**係』へメールしてください。

- ・ 〒 & 住所:
- ・ 会社名:
- ・ :
- ・ 担当部門:
- ・ 担当者:

10/1(木)~10/8(木)は、中国の「連休:国慶節・中秋節」になります

上海日経財務:葵 Office が下記の事務所に移転しましたので、今後も宜しくお願い致します。

- ・ 上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易ビル 1510 室
- ・ :021 - 6219 - 8120 (日本語専用線)